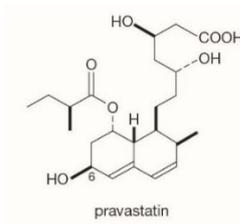
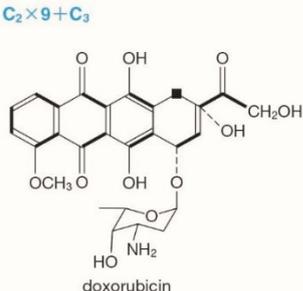
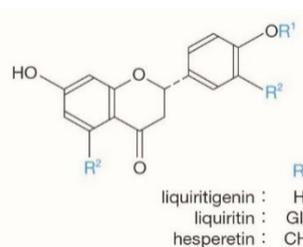
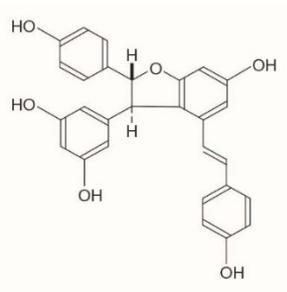
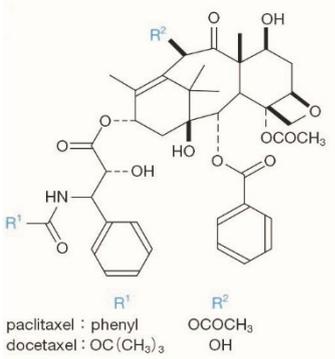
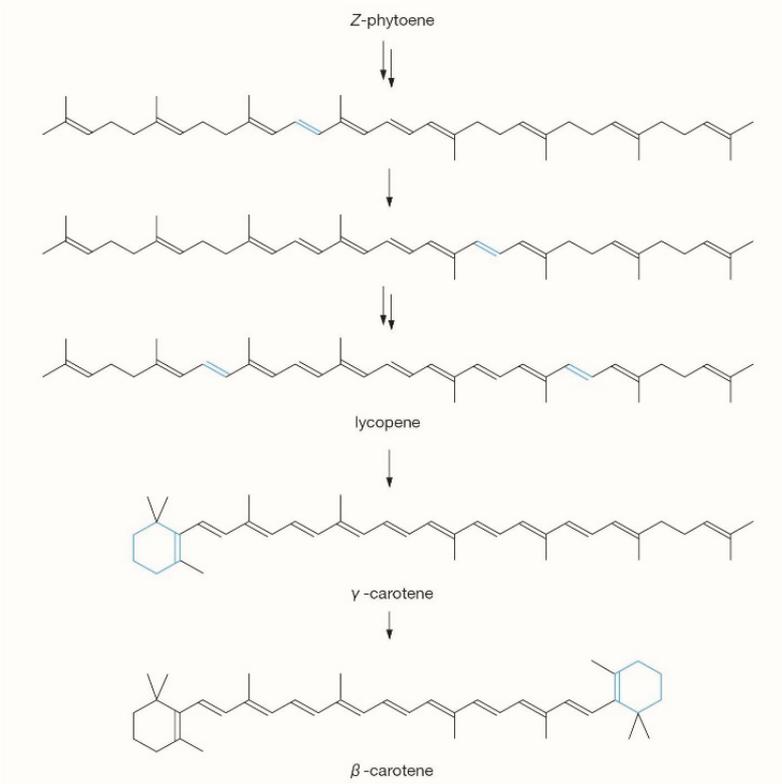
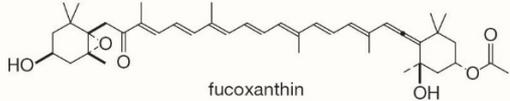
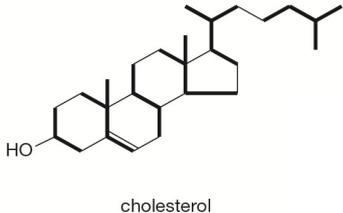


正 誤 表

「パートナー天然物化学（改訂第4版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正												
23	上から4行目	$[\alpha]_{\text{D}}+116^{\circ}$	$[\alpha]_{\text{D}}+112^{\circ}$												
27	図1-16右	<i>N</i> -acetyl- β -D-glucosaminopyranose	<i>N</i> -acetyl- β -D-glucosaminopyranose												
28	下から4行目	salacia属植物	<i>Salacia</i> 属植物												
38	上から2行目	<i>kjellmaniella crassifolia</i>	<i>Kjellmaniella crassifolia</i>												
38	下から6行目	グリコサミグルカン	グリコサミノグリカン												
39	図1-37	グリコサミノグルカン	グリコサミノグリカン												
40	図1-38	<i>N</i> -acetyl muramic acid	<i>N</i> -acetyl muramic acid												
58	上から6, 7行目	フロクマリン	フロクロモン												
66	コラム	pravastatinの構造式を下記に差し替え 													
66	コラム	atrovastatin	atorvastatin												
68	左から2つ目	doxorubicinの構造式を下記に差し替え $\text{C}_{27}\text{H}_{41}\text{NO}_9$ 													
87	図3-23	図左上の構造式を下記に差し替え  <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">R^1</td> <td style="text-align: center;">R^2</td> </tr> <tr> <td>liquiritigenin :</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: center;">H</td> </tr> <tr> <td>liquiritin :</td> <td style="text-align: center;">Glc</td> <td style="text-align: center;">H</td> </tr> <tr> <td>hesperetin :</td> <td style="text-align: center;">CH₃</td> <td style="text-align: center;">OH</td> </tr> </table>			R^1	R^2	liquiritigenin :	H	H	liquiritin :	Glc	H	hesperetin :	CH ₃	OH
	R^1	R^2													
liquiritigenin :	H	H													
liquiritin :	Glc	H													
hesperetin :	CH ₃	OH													
94	図3-35	ϵ -viniferinの構造式を下記に差し替え 													

頁	行, 箇所	誤	正
121	コラム図中	コラム図中の「合成フォント」を削除	
135	図4-42	右から2つ目の構造式を下記に差し替え 	
153	図4-85	図を下記に差し替え 	
154	図4-86	fucoxanthinの構造式を下記に差し替え 	
166	下から6行目	シナヒキガエル <i>Bufo bufo gargarizans</i>	アジアヒキガエル <i>Bufo gargarizans</i>
170	上から15行目	シナヒキガエル	アジアヒキガエル
175	下から2段目	cholesterolの構造式を下記に差し替え 	

頁	行, 箇所	誤	正
195	コラム図	<p>図を下記に差し替え (2段目dopamine, 3段目(S)-reticuline, (R)-reticulineの構造式を訂正)</p>	<p>図を下記に差し替え (2段目dopamine, 3段目(S)-reticuline, (R)-reticulineの構造式を訂正)</p>

頁	行, 箇所	誤	正
208	図 テレオシジン類化合物の生合成経路	<p>図を下記に差し替え</p>	
220	コラム本文 上から 7~8 行目	(主根がブシで側根がウズ)	(主根がウズで側根がブシ)
224	コラム本文 下から 3 行目	ジヒドロピリジン前駆体からの生合成経路	ジヒドロピリジンを前駆体とする生合成経路
226	コラム本文 上から 3~4 行目	主骨格の生合成経路はポリケチドであるが,	主骨格はポリケチド由来であるが,
254	図 6-11	atorvastatin	atorvastatin
263	下から 12 行目	<i>Streptomyces mediterranei</i>	<i>Amycolatopsis mediterranei</i>
264	図 6-22	<p>図を下記に差し替え</p>	
264	図 6-22 説明文 下から 1 行目	FKBP	FKBP-12
265	下から 8・6 行目	FKBP	FKBP-12

頁	行, 箇所	誤	正
266	図 6-24	khellin の構造式を下記に差し替え 	
267	下から 10~9 行目	わが国で保険適用になり販売されている薬品は,	現在, わが国で認可されている医薬品は,
	下から 8 行目	の 4 種類のみである.	, アルテメテル (図 6-26) とルメファントリンの合剤の 5 種類である.
268	図 6-25	chloroqulne	chloroquine
268	下から 3~2 行目	アルテシニンによる治療に代わってきているが, いずれもわが国では承認されていない.	わが国ではアルテメテルとルメファントリンの合剤が使用されている.
269	下から 1 行目	<i>Streptomyces avermitilis</i>	<i>Streptomyces avermectinius</i>
270	下から 7 行目	アンホテリシン B	アムホテリシン B
290	リファンピシンの備考	<i>Actinomycetes mediterranei</i>	<i>Amycolatopsis mediterranei</i>

2023 年 3 月 30 日
株式会社南江堂